

《コース専門教育科目 コース専門応用科目》

科目名	読書と豊かな人間性				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期

《授業の概要》

子どもが本を読まなくなった、と言われて久しいが、本を読まないのではなく、読むきっかけがないことが多いのではないか。この授業では、子どもが本を読むきっかけになる、大人の側からの働きかけの様々な方法について学ぶ。適宜、受講者による活動を取り入れながら進めていく。

《授業の到達目標》

読書行為や制度における歴史的変遷を理解する。  
子ども達に読書の楽しさを伝える方法を学ぶ。

《成績評価の方法》

提出物・発表 30%、期末レポート 70%

《テキスト》

山元隆春編 2015「読書教育を学ぶ人のために」世界思想社

《参考図書》

特に指定しない。ブックトークの実践を予定しているので、興味のある受講者は図書館等でブックトークについての関連書籍を読んでおくことよい。また、受講者自身の読書のきっかけにつながるよう、折に触れて担当者が関心を持ったさまざまな本を紹介していく。

《授業時間外学習》

図書館等を利用し、日常的に本に親しむことを心掛けること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	読書教育の存在理由	読書教育の存在理由
3	読書教育の過去と現在	読書教育の過去と現在
4	読み語り・読み聞かせ	読み語り・読み聞かせ
5	ブックトークとは	ブックトークについて学ぶ
6	ブックトークを企画する(1)	ブックトークを企画する(1)(ブックトークのテーマを考える、本の選定)
7	ブックトークを企画する(2)	ブックトークを企画する(2)(掲示物等の作成、発表練習)
8	ブックトークを実演する	ブックトークを実演する
9	黙読の役割	黙読の時間の果たす役割について学ぶ
10	読書感想を引き出す指導	読書感想文を書くことの前、読書感想を持つための指導が重要性であることを学ぶ
11	感想の交流を図る	感想を交流することで、読書経験がさらに深まることとその実践を学ぶ
12	読書能力の発達	幼児から小学校高学年までの読書能力の発達について学ぶ
13	マルチメディア時代の読書とその教育	マルチメディア時代の読書とその教育
14	自立した読み手を育てるために	リテラシーを育てる読書教育の構想
15	「読書による学習」を考える	「読書による学習」の開拓へ向けて